

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年 5月 25日公開**Leiper's Fork(テネシー州)よりアップデート**

(日本時間 2018年5月26日午前9時～)

.....

テネシー州の Leiper's Fork より、こんばんは。ここは Grace Chapel のある地域で、Steve Burger 牧師がこちらにおられます。これから、この一週間ほどの間に起こった事をお伝えしますが、その前にミニストリーに関して簡単にご報告します。

私はちょうど一週間前に、シンシナティーに到着して、土曜日は Barry Stagner 牧師と、カルバリーチャペル シンシナティーの Rick 牧師とともに過ごしました。シンシナティーで行われた預言カンファレンスは、本当に素晴らしくて、参加者は1,000人近く、アメリカ中から、それからカナダからもたくさんの人が集まってくれました。



カルバリーチャペル・シンシナティーでの講演

それから、ビホールドイスラエル・カナダの初の役員会議がありました。

つい先日、私たちはビホールドイスラエルのカナダ支部を開設して、今後はビホールドイスラエルの傘下で、カナダでも活動して行く予定です。これは本当に良い知らせでした。カンファレンスは上手く行き、その一部は His Channel でライブ配信もされました。

His Channel.com はクリスチャンのテレビで、今回の事から His Channel がビホールドイスラエルをレギュラー番組として加えてくださることになったのです。つまり、これから2、3週間のうちに His Channel の中にビホールドイスラエルのチャンネルが出来て、そこで、イスラエルや世界中から発信している私のメッセージが配信されることとなります。これはとても良い知らせであり、祈りの答えでした。主は、これを行うための手段を与えてくださっただけでなく、担当者的心も備えてくださったため、あちらからの提案で、私たちはこれが可能になったのです。ということで、とても嬉しく思っています。これから数週間のうちに、これを行うのがとても楽しみです。

それからすでにお伝えしたと思いますが、シンシナティーの後、私はワシントン DC に向かいました。そこでは、国家政策や、あちらでの祈祷会等を執り成しておられる方々、それを動かしておられる方々、また、生命尊重派の方々など、たくさんの人と交わり、素晴らしい時間を過ごしました。私は、生命尊重の活動に、Kathy Ireland さんから個人的に招待していただきました。彼女は有名なモデルで、現在、ビジネスで非常に成功されている女性ですが、何よりも重要な事に、彼女は、まだ生まれていない命の権利を支持し、そのために戦っている、神を恐れる女性です。私が参加させていただいた「Susan B Anthony List」というアメリカ最大の生命尊重派団体の Gala ディナーでは、この団体の創設以来初めて、1,000人近くが参加しただけでなく、今回

のメインスピーカーは他にもない、アメリカの大統領ドナルド・トランプでした。



Gala ディナーで演説するトランプ大統領

私は彼を非常に賞賛しています。皆さんご存知の通り、彼はイスラエルの側に立っているだけでなく、エルサレムの側に立っているだけでなく、彼は素晴らしい真実の提唱者であるだけではありません。世界中で彼は、嘘を「嘘」と呼び、真実を「真実」と呼んでいる、素晴らしい高潔の人です。しかし、私が彼を信じたのは、彼がイスラエルやエルサレムを味方した時だけでなく、まだ生まれていない命の味方である、と聞いた時でした。数か月前（書記注：2018年1月19日）に、ワシントンDCで行われた「命のための行進」で演説した現役大統領は、彼が初めてです。



「March for Life」で演説するトランプ大統領

そして今度は、この素晴らしいイベントに出席です。私にとってこれは何よりも重要な事で、母の胎内にいる小さな命のために立ち上がる人なら、私は信じられます。詩篇 139 篇には、私たちが母の胎内にいる時に、主が既に私たちを創られたのだと書かれています。主は、すでに私たちのすべてのこと、私たちのすべての部分をご存知で、私たちのすべてが、彼の書に記されている、と（書記注：詩篇 139:13~16 参照）。

私たちは、そろそろいい加減に立ち上がって、この世界中で行われている、最大の犯罪に対して戦うべきだと思います。ところでこれは、イスラエルでも行われています。アメリカでも、他の国々でも同様です（書記注：日本だけを見ても、2016年一年だけで 168,015 件。世界全体では統計を取っていない国もあり、おびただしい数になる。）。私たちは、これを終わらせなければなりません。これは、生まれる前の命の大量虐殺と言っても過言ではありません。トランプ大統領は、この動きの素晴らしい提唱者であり、私は、同じ場所にいられただけでなく、現在アメリカ中で、これに関する物凄い動きが起こっていることを知り、光栄に思います。役員、

判事、上院議員、下院議員が選出されていて、アメリカ合衆国内で、何百万人という数の子どもたちの命を大量虐殺するための道を備えた、あの恐ろしい最高裁の決断を、彼らはきっと覆すでしょう。以上が現在の状況です。

沢山の人から、「大統領と個人的にお会いできたか？」というご質問をいただきましたが、私は彼から数メートル離れた場所において、彼がエルサレムについて話した時に、私たちが歓声を上げたら、こちらを見ていましたが、今回、大統領は人々と交わるために来られたのではなく、演説のために来られて、その後すぐにホワイトハウスに戻られました。他にも対処すべき重要事項がたくさんあったのでしょう。ですから残念ながら、彼と話したり、一緒に過ごす機会はありませんでしたが、彼のいた場所において、彼の言葉を身近に生で聞くことが出来、彼の心を聞く事が出来ただけで、私には十分です。この機会を与えてくださった主に、心から感謝します。それとももちろん、これを可能にしてくださった友人に感謝します。Gala ディナーの最中に上映された短い動画の中で、数人が生まれる前の命の権利について語ったのですが、私もその中の一人でした。その動画で紹介された人の中で、私は唯一のユダヤ人、イスラエル人でした。ですから、Gala ディナーに参加させていただきただけでなく、このイベントの一部を担えたことを、とても光栄に思っています。そして、アメリカがこの問題に関しても、正しい道を歩むよう、心から願っています。

今回私は、明確なメッセージを携えてアメリカを訪れました。メッセージは、現在、私たちが生きているこの時を名付けて、

「嵐の前の静けさ」。

実際、私はこのメッセージを、シンシナティだけでなく、数日前にここテネシーの Grace Chapel でもお話ししました。メッセージは、ユーチューブでもご覧いただけます。2日も経たないうちに、視聴回数は 80,000 近く（英語版）です。まだの方は是非ご覧ください（書記注：日本語字幕版もあります）。

その中で、私がお伝えしたのは、現在、実際に起こっていることについて、それから、実に限られた短い静寂の時間が与えられている、その目的について。それはもちろん、荒に向けて世を備えるため、イスラエルを備えるため、地域を備えるためです。

聖書はエゼキエル 38 章で、イスラエル攻撃が暗雲のようであり、嵐のようだと告げています（エゼキエル 38:9 参照）。

そして現在、私たちが経験しているのは、確実に「嵐の前の静けさ」です。

現在、同盟が結成されつつあり、

現在条約が結ばれつつあります。

現在、指導者たちの心が整いつつあります。

現在、実に様々な事が起こっています。

ちなみに、ワシントン DC で大統領が言った事の一つは、私たち全員が聞くべき事だと私は思っていますが、

「私たちは、誰一人として 2016 年に当選した勝利に安住して、戦いが終わったと考えてはいけません。」

第一テサロニケ 5 章が、これまでにないほど適切で鮮明だと思います。

パウロが言っています。

4 しかし、兄弟たち。あなたがたは暗やみの中にはいないのですから、その日が、盗人のようにあなたがたを襲うことはありません。

- 5 あなたがた。みな、光の子ども、昼の子どもだからです。私たちは、夜や暗やみの者ではありません。
- 6 ですから、ほかの人々のように眠っていないで、目をさまして、慎み深くしていきましょう。
- 7 眠る者は夜眠り、酔う者は夜酔うからです。
- 8 しかし、私たちは昼の者なので、信仰と愛を胸当てとして着け、救いの望みをかぶるとしてかぶって、慎み深くしていきましょう。
- 9 神は、私たちが御怒りに会うようにお定めになったのではなく、主イエス・キリストにあって救いを得るようにお定めになったからです。
- 10 主が私たちのために死んでくださったのは、私たちが目ざめていても、眠っていても、主とともに生きるためです。

(第一テサロニケ 5:4~10)

これはもちろん、はっきりと携挙のことを告げています。私たちが目ざめていても、眠っていても、です。もし、私たちが目ざめているなら、主とともに、眠っているなら、キリストにある死者が、主のもとに挙げられます。それから、聖書は私たちに命じています。

- 11 ですから、あなたがたは、今しているとおりに、互いに励まし合い、互いに徳を高め合いなさい。

(第一テサロニケ 5:11)

- 14 兄弟たち。あなたがたに勧告します。気ままな者を戒め、小心な者を励まし、弱い者を助け、すべての人に対して寛容でありなさい。
- 15 だれも悪をもって悪に報いないように気をつけ、お互いの間で、またすべての人に対して、いつも善を行うよう務めなさい。

(第一テサロニケ 5:14~15)

私たちはいつも、このことばをもって、互いに励まし合わなければなりません。聖書は、告げています。

- 10 主が私たちのために死んでくださったのは、私たちが、目ざめていても、眠っていても、主とともに生きるためです。

(第一テサロニケ 5:10)

ひとつ前の章でも、携挙について伝えながら、こう言っています。

- 18 こういうわけですから、このことばをもって互いに慰め合いなさい。

(第一テサロニケ 4:18)

そうです。今は、静寂の時期です。

イスラエルは、今ほど平安だったことはありません。

多くの人が、戦争が起こっていると思っていますが、違います。

イスラエルは今、独立国家としての70年の歴史上、一度もなかったほどの平和と繁栄の時期を味わっています。

我々は、嵐を覚悟しているか？——はい、していますよ。

この静寂は、一時的なものだ、と我々は理解しているか？——はい、しています。

ただ、今現在の静寂は、目的があって一時の間与えられているのです。

我々信者にとって、その目的の大部分は、城壁の見張り人となって人々を備えさせること、それから世に出て行って、世界中に福音を宣べ伝えるためだと、私は思っています。

では、こんにちの私たちの多くにとって、大きな利益になると思えるいくつかの事についてお話したいと思います。

まず第一に、恐らく皆さんももう既に気付いておられると思いますが、エルサレムでの大使館開館式や、ガザでの暴動の後、ホコリが落ち着いて来ると、最終的に真実が露わになります。そこで、パレスチナが行なった事の一つは、高い死者数を告げながら、その中の全員ではないにしても、ほとんどがハマス所属のテロリストであることを伝えていません。あの2日の間に利用された事の一つは、「生後8か月の赤ちゃんが、イスラエル兵がデモ隊に対して使用した催涙ガスで窒息死した」という主張です。それが、物凄く奇跡的に、彼らは今、この出来事での死亡者リストから彼女を取り下げました。彼女の死亡原因が心疾患であったことが証明されたためです。ところで、イスラエル当局は、一ヶ月前からそれを知っていました。つまり、この赤ちゃんがこういう状態であることを、我々は以前から知っていたのです。そして今、真実が明らかになったことを知って、彼らは静かに彼女をそのリストから外しました。このように、イスラエルが無実の一般市民を大虐殺しているという、非難の熱気球の全体が、もはや存在しないことがお分かりでしょう。

“ガザ大量虐殺の被害者”のために、学校や施設が黙禱をささげていますが、自分たちが、武装したテロリストを覚えて黙禱していることを、彼らは知りません。それが彼らのした事です。テロリストたちは、「ユダヤ人殺害の手引き」をメールやパンフレットで与えられていて、指導された通りに行なっているのです。

とても興味深いのは、ハマスの指導者が昨日、テレビのインタビューで

「自分たちは毎日毎日、テヘランと密に連絡を取り合い、協力し合っている」と述べたことです。

彼らは、テヘランより手ほどきを受け、

テヘランより資金を受け取り、

そして、テヘランより指示を受け取っているのです。

彼らの目標は、2018年5月14日、全てのテレビ画面が真ん中で分けられ、一つで大使館の開館式を見せ、もう一方でフェンス沿いの暴動を見せる事でした。もう一つ、その前日に我々が聞いていたのは——ハマスは死者数をとつともなく引き上げて、画面が半分に分けられるだけでなく、こちらでは人々が殺され、反対側では人々が祝っているように見せたかったのです。もちろん、それによってドナルド・トランプ大統領と、ベニヤミン・ネタニヤフ首相に、非常に否定的な光が当たるようにしたかったのです。

しかし、それは上手く行きませんでした。

真実が明らかにされ、今や私たちは、これらは全てテロリストであったこと、この小さな赤ちゃんはこれとは一切関係がない事が分かっていますから。

彼らはただ、偽の現実を作り出すために、赤ちゃんや女性や子どもを冷淡に使っているのです。これは非常に悲しい事です。

ところで、私が目にしたのは、非常に多くのジャーナリストたちが

「イスラエルよ！恥を知れ！」

と叫びながら、その二日後にそれを撤回しているのです。

「イスラエルを裁くには、私は早急過ぎた。」

「事実、私が間違っていたことに気付いた。」

「私が知らされていたこととは違っていた。」

あれには驚きました。

このように、私たちは理解しなければなりません。

パレスチナは、この全貌で勝てなかっただけでなく、彼らは、ハマスの正体を暴露したのです。彼らは、子どもや女性を利用したテロ組織であるだけでなく、市民と協力せずに、イランに協力して、資金、指針を受けています。

それがまさに、ドナルド・トランプ大統領が言ったことでした。

「イランは、地域全体を不安定にしている者だ。」

ハマスのように、毎日のようにサウジアラビアに向けてロケットを発射しているイエメンのフーシ派であれ、イラク国内であれ、シリア国内であれ、レバノンであれ、彼らは、ヒズボラやあちらの自分たちの革命防衛隊を含めた民兵を利用している。

イスラエルは昨日、レバノンとシリア国境の空軍基地で、新たな空爆を行いました。今回は、ヒズボラの有人空軍基地が標的でした。空軍基地自体は、シリア空軍基地としてはすでに使われておらず、実際には、ヒズボラが使用するために、イランがあちらに持ち込んだ地对空ロケットを保管しておくための倉庫として使われていて、さらに地下には、ヒズボラが使うための多起動多目的装甲車や、ジープといった武装車が置かれてありました。そして、ヒズボラの中に非常に多数の死者が出たことが報告され、ヒズボラの指導者であるハサン・ナスルッラーフまでが今日、

「確かに、イスラエルが、シリア国内のヒズボラのセンターを攻撃した」と述べました。



ハサン・ナスルッラーフ

イスラエルは、我々の国境近くにあるあらゆる脅威を取り去る決意をしています。それは、イランであれ、ヒズボラのようなイランの代理であっても同じです。

次に、この2、3日の間に起こった、非常に興味深いことについてお話ししましょう。

まず第一に、皆さんも私も知っている通り、トランプ大統領が、イラン及びイラン政権と取引をする全ての会社に対する、厳しい制裁を発表しました。そして、皆さんのメディアは絶対に伝えませんが、非常に面白い形で、非常に大手の会社があちこちで、イランとの契約を解除し始めたのです。

① まず、フランスの石油会社トタルから始まりました。

ここは、イランの最大のガスと油田の一つを開発して、ガスや石油を販売するために使用していた会社です。

② 続いてデンマークの石油輸送会社 TORM、

③ それから運送会社 Misc

両方とも、大口の契約を解除しました。

④ 続いてブリティッシュ・ペトロリアム

⑤ ボーイング

⑥ エアバス

が全契約を解除しました。

フランスの三大自動車会社は、イラン国内に工場建設を計画していましたが、

⑦ ルノー

⑧ シトロエン

⑨ プジョー

が契約を解除しました。

⑩ イタリアの石油会社 Eni

⑪ ポーランドの石油会社 PGNIG

が契約を解除、

⑫ ドイツの融資銀行 DZ 銀行が、イランへの融資を今後は行わない予定です。

これによってイランは、何億ドルと失います。

もしこれで足りなければ、——イランのトラック運転手たちが、この3日間ストを行なっていて、——イランの国中で起こっているデモは、もう既に何日も続いています。事実、マシュハドという町の空港のシステムがハッキングされ、全てのモニターにアラブ語とペルシャ語の画像が現れました。そこには、あちらの全政権を取り除きたいと書かれています。



ハッキングされた、マシュハド国際空港のモニター

イランの人々は戦争を望んでおらず、彼らの政権がしていることが気に入りません。それが事実です。

イラン政権は、アメリカの制裁から、彼らとの取引から逃げ出しているヨーロッパから、そして内側からも圧迫されているのを、私たちは見ているのです。

これに加えてお伝えしたいのは、トルコの破産です。

トルコの通貨は、その価値がこの一年半の間にほぼ半分になりました。

トルコ中央銀行は数日前に、アンカラで緊急会議を開きました。

彼らは困り果てています。

あちらでの問題と地獄が深まれば深まるほど、エルドアン大統領のイスラエルに対する口撃は、どんどん激しさを増して行きます。彼にとっては、

「誰にも我々の経済的問題に携わって欲しくない！

自分は誇り高きムスリムで、イスラエルが、パレスチナ人であれ何であれ、エルサレムでしていることを憎んでいる！」

いつも容疑者はイスラエルです。

このように、現在ロシアは、イランからはもう入らない、何十億ドルを失いました。

イランは、今後ロシアとの取引に、一切お金が払えませんから。

見ての通り、イラン経済はグラグラ、

トルコ経済はグラグラ、

そして、この三者が悪巧みをするまで、さほど時間は要りません。

皆さんも恐らく、ベニヤミン・ネタニヤフ首相が Fox News で、Judge Jeanine のインタビューに答えているのをご覧になったでしょう。



インタビューに答えるネタニヤフ首相

私はこれまで、ずっと言って来ましたが、ロシアは、シリアのこともイスラエルのことも何とも思っていない。彼らが考えているのは、ガスと石油だけ。彼らは、シリアに行って、地中海の利益を確保するだけでなく、それ以上にシリアのガス田と油田を支配したかったのです。

現在、シリア国内のガスと石油に関するほぼ全てを、アメリカ合衆国が支配しています。ですから、アメリカがあちら側にいて、トルコが北部にいるために、ロシアとイランは、ネタニヤフが言った「分捕りもの」を巡って競うことになるのです。もちろん、それについて私たちはずっと言って来ましたが、彼らは、自分たちに分捕ることが出来なければ、いずれ他の場所にそれを捜し求める。それが、エゼキエル戦争の全目的です。それから、私は皆さんに何度も言って来ましたが、これは詩篇 83 篇の戦争ではありません。もはや、イスラエルが存在するかしないかの問題ではなく、

もはや、イスラエルの名が覚えられるかどうかの問題でもなく、

今は、経済利益が全てです。

そして、ロシュ、メシエク、トバル、その他全員が手を組むのは、分捕るのが目的、獲物をかすめ奪い、略奪するのが目的で、エゼキエルが言っているのは、基本的にはそういうことです。

そして、今の私たちの時代は、イスラエルが繁栄していて——ちなみに、アメリカも繁栄していますよ？——私たちの繁栄の時期が、彼らに、攻め込み略奪したいと思わせるのです。皆さん、お分かりですか？しっかりと理解しておいてください。

静寂の期間も、嵐を予測するのと同じくらいに重要なのです。

なぜかと言えば、この静寂の期間に、私たちは大きな事がいくつか起こるのを目にしているからです。

アメリカは、「エルサレムはイスラエルの首都である」と認識しました。

ですから、もはやエルサレムがどうというのは、問題ではないのです。

ある人たちは、

「トランプ大統領のパレスチナに対する将来的な計画には、エルサレム分断が含まれている、と聞いた」と私に言いましたが、それは事実ではありません。

トランプ大統領は、確実に他のものを提示します。

彼は、パレスチナとイスラエルの間に協議を提案する、と全世界に約束しましたから、それはしなければなりません。ただ、覚えていますか？彼が提示しようとしている壮大な協議は、まず、イスラエルと他のアラブ諸国との平和です。そして、それから当然、パレスチナとの協議です。

次に、彼がパレスチナに提示するのは、これまでに提示されたものとは全く違います。

仮に彼らが何かを得るとするなら、恐らく西岸の半分でしょう。

仮に彼らがもはや話もしないことがあるとすれば、それはエルサレムの旧市街や、その周辺です。

もはや、交渉の対象ではありません。アブデイスの町、もしくは区画は、エルサレムではありません。皆さん、理解しておいてください。アブデイスとエルサレムの間には、今すでに壁があるのです。仮にパレスチナに国家があるなら、10年、15年前からすでにアブデイスは、そこが首都になり得ますし、そうあるべきです。

しかし、彼らがそれを拒んだのです。

ここで落ち着いて、確信を持って言わせていただきます。

今回もまた、皆さん、心配は要りません。

パレスチナはまた、チャンスを逃しますから。



アブデイスの位置

彼らはまたしても、我々の初代外務大臣のアバ・エバンが言った、同じ部類に収まります。

「パレスチナは、機会を逃す機会を、絶対に逃さない。」

またしても、彼らは拒絶します。

またしても、彼らは「受け入れない」と言います。



アバ・エバン

ところで、このためにトルコやイランは、「自分たちにはそこへ行き、ロシアが課す“経済戦争”に参加する権利がある」と感じているのです。

ロシアは、世界に言いますよ。

「自分たちは、分捕りもののために来た」

と。しかし、トルコは、パレスチナを解放するふりをしてやって来ます。

そしてイランは、あの地域でのイスラムの地位を、どうにか取り戻すためにやって来ます。それだけです。

しかし皆さん、本当の理由は、もちろん分捕りものです。

本当の理由は、もちろん獲物をかすめ奪うためです。

本当の理由は、もちろん略奪するためです。

私たちはそれを知っています。また、それが起こっているのを私たちは目にしています。さらに皆さんにお伝えしたいのは、ヴラディミール・プーチンは、

「この任期が終われば、もうロシアの大統領はしない」

と言っています。言い換えれば、彼が言っているのは、2024年には、自分はもうロシアの大統領ではないということです。とても興味深いです。

もし彼が、マゴグの大首長であるゴグだとすれば、2024年には、彼が言うには基本的には、自分はその地位にはいない、ということです。ですから、少なくともヴラディミール・プーチンの中では期間が決まっていて、彼がやりたい放題するための期間は6年間。非常に興味深いです。

もしこれで足りなければ、皆さん、現在アメリカ議会で提示されている国防法案は、トルコが戦闘機F-35を購入するのを禁じるものです。面白い事に、トルコは、この戦闘機の開発に携わった国の一つです。現在の状況を見て、トルコがイランに非常に近づいている事、トルコが、アメリカやイスラエル、NATOを酷評していることなどから、——非常に興味深いことに、トルコはアメリカから敵とまで見なされているのです。だから、F-35のような機密は、彼らの手に渡るべきではないとまで見なされています。

皆さん、私がこれからいう事は大げさに聞こえるかも知れませんが、注意してよく聞いてください。私は、何事に関しても、センセーショナルにするつもりはありませんが、ただ、非常に面白いと思ったのです。

この数年間、イスラエルは、NATOの訓練や演習に参加するようにと招待されてきましたが、今回は初めて、

ヨーロッパの国内で行われる訓練の参加に招待されました。もはや、海上で行われる海軍の訓練でもなければ、空中の訓練でもありません。これは、ヨーロッパの国土で行われます。そしてイスラエルは、他の NATO 参加国に加わるのです。そこで私は、イスラエル当局者たちに尋ねました。

「本当の訓練の目的は何なんだ？」

そして、それに対する彼らの答えに、私は本当にびっくりしました。

彼らは何と言ったと思いますか？

「イスラエルの訓練は、ロシアの侵略を止めるためだ。」

そこで私は、どういう意味かと尋ねました。

「ロシアが、ヨーロッパに侵略する、ということか？」

と。

すると彼らが言ったのは、NATO の訓練に招かれて参加すれば、ロシアがヨーロッパに侵略して来た時に、我々がどのように加担するかが分かるでしょう。しかしこちらに戻れば、ロシアはすぐそこにいて、——つまり、我々がヨーロッパで学んだことが、実際、自分の国でも実行できるのだ。

私は衝撃を受けました。なぜなら、イスラエルのウェブサイトの見出しは

「イスラエルは、ロシアの侵略に備えている」

私は、彼らがエゼキエルを引用しているのかと思いました。

彼らは、御言葉から取り出して、何か言おうとしているのかと思ったのです。

それが衝撃な事に、イスラエルが現在、物理的に訓練の一員として招待されているのは、ロシアの地上侵略を想定して、それを止める方法です。物凄く興味深いことです。

皆さんにお伝えしたいもう一つの事は、トルコの、我々に対するご立腹がまだ足りないようで、今度は、彼らはアルメニア人のホロコーストを、トルコの犯罪として認識しないように、と我々に警告して来ました。これは 1915 年に起こり、非常に多くのアルメニア人が、トルコ人によって殺されました。ところで、これはホロコースト以外の何ものでもなく、アルメニア人の大量虐殺ですよ。しかし世界は、トルコを非常に恐れて何も言いません。ただ、言っておきますが、イスラエルは、これがアルメニア人のホロコーストであると、すでに認めて認識している 30 カ国に加わるでしょう。我々は、トルコに反感を買うことを、もう恐れる必要はありません。トルコは、とっくの昔に一線を越えました。ですから、そろそろ我々は、彼らのしたことの事実を伝えなければなりません。これがあちらで起こっている事です。

さらに皆さんにお伝えしたいのは、訓練は「サーベルストライク 18」と呼ばれ、来月行なわれます。繰り返しますが、イスラエルもその一部を担う予定で、私はとても興味をそそられています。だから私は、嵐の前の静けさが必要だ、と言っているのです。なぜかと言えば、今の静けさの時期に、私たちは備えが出来ますから。軍事的、経済的、それから霊的にもそうだと私は思っています。

イスラエルで、物凄い事が連続で起こっているのか？と私に聞かれるなら、——

イラン協議からの撤退に始まって、続いてアメリカ大使館のエルサレムへの移転、続いてイランが機密の核プログラムを隠していた場所への潜入の大成功、続いて信じられないような攻撃の大成功によって、シリア国内のイランの駐留を 2 年後退させました。ところで、継続してロシアは盲目的に、イスラエルがシリア国内のイランの標的を攻撃することを認めています。これら全ての事から、非常に多くのイスラエル人たちが、

「今はメシアの時代だ」と考えるようになっていきます。これは神のご介入だ、今までに見たこともないようなものだ、と。前にも言いましたが、私たちは戦争に向けて軍事的に備えることも出来るでしょう。それから今は、経済的にも、技術的にも、全てにおいて繁栄しています。しかし私が思うに、現在、我々が目にしているのは、また、何らかの形でイスラエル人たちが「メシアの時代が近づいている」と、ほぼ考えるようになってきているのです。

「そして、たぶん、恐らく、我々の所に平和と繁栄が、外国の指導者によってもたらされるのだろう。そしてその人物が、メシアとなるのだろう」

と。とてもとても興味深いことです。彼らがこんなことを言うのを、今までに聞いたことがありません。

それから皆さんにお伝えしたいのは、——未だにイランの外務大臣ザリーフが、穏健派イラン人だと思っている方、——Hashmat Alavi という名のイラン人ブロガーがいて、フォロワーは3万人、その彼が、つい先ほどツイッターに投稿した動画には、——ザリーフが、改革主義者か穏健派のように微笑みながら、イラン国内で「アメリカに死を！」さらには「イギリスに死を！」「イスラエルに死を！」と唱えているのが映っていました。



Hashmat Alavi のツイート

彼は、イランの最高指導者ハメネイの演説を聞きながら、他の何百人という数のムッラ（イスラエルの学者）たちと一緒に、そう唱えていたのです。これだけでも、我々が、正直な人たちを相手にしているのではないことを証明しています。

ヨーロッパは今、イランの前にひざまずいています。イランはヨーロッパに

「全ての会社が逃げて行くなら、我々は賠償を求めろ」

と言っています。

そしてヨーロッパは困り果てています。

彼らは、お金をかけたのです。

彼らの経済の全ては、彼らの懐に流れる予定だった、イランの何十億ドルというお金をあてにしていたのです。それだけでなく、ヨーロッパの交渉役の多くが、その決議を承認させるために、すでにイランから内密にお金を受け取っています。

ヨーロッパは、敵と寝床を共にしています。

非常に面白いのが、ヨーロッパは非常に弱っていて、移民によってイスラム過激派が全盛しているのです。これが、ドイツ人たちが目覚めに見た光景です。ここはケルンという町の中心駅の写真ですが、そこには ISIS の紋章があって、アラブ語でこう書かれています。

「次の “Insha’ Allah”」

つまり、「アッラーの助けにより、ここが次の標的だ」

ということです。

想像してみてください。

これは、ヨーロッパ人にとっては、悪夢です。

更にヨーロッパでは、多くの事が起こっています。そのほとんどを、皆さんの多くがご存知ないでしょうが、——イスラエルの今日の新聞に、興味深い記事が載っていました。チップ移植に関する記事です。



マイクロチップの移植

イスラエルは、現在ヨーロッパで起こっていることに対して、もはや無関心ではありません。覚えていますか？いつも言っていますが、私は、ヨーロッパから反キリストが興る、と信じています。ただ、これを見てください。皆さんがご存知かどうか分かりませんが、ヨーロッパの会社に、すでに移植を始めている所があって、——チップは小さな米粒ほどの大きさです。その中に、NFC と呼ばれるものが入っています。近距離無線通信です。皆さんのクレジットカードに入っている、電磁ストライプと同じタイプの通信です。それを読み取るスクリーンに触れて、作動します。つまり、ある場所に入るには、手をかざすだけです。食料品を買いに行っても手をかざすだけ、電車の駅に行っても手をかざすだけ。ヨーロッパでは、それを毎日移植している会社があり、スウェーデンでは、おびただしい数の人たちが既にそれを行なっています。ただ、恐らく皆さんが知らないのは、今やヨーロッパの町がチップパーティーを開催しているのです。彼らはパーティーを開催していて、そこに来た人たちは、チップを移植することの特権を聞き、その場でチップ移植を受けているのです。これがまさに、私たちの目の前で起こっています。興味深いのは、この週末、イスラエルのメディア全部です。始まりは Jowan Osterlund という、スウェーデンの男性で、彼らが言うには、この男性は財布をもって外出したことがない、財布は必要ないから。そして男性は、Biohax という会社を経営しています。バイオロジー（生態）をハッキングする、という意味で、文字通り、人間の体にもものを移植して、ハッキングするのです。彼らは言いますよ？

「これは悪いものではない。非常に無害で、このチップよりペースメーカーの方が、実際に人体や健康に影響がある。」

こう言って彼らは売ろうとするのです。

これが既に、ヨーロッパ中で起こっています。

ミネソタ州の会社も、これを始めていて、70人の従業員の内、50人がそのチップを移植しているそうですが、それでもヨーロッパに比べれば、アメリカはまだ少数です。

今、ヨーロッパではこれが最新で、全体に広まっています。

ということで、現在起こっているのは、「嵐の前の静けさ」です。

地域は、準備が出来つつあります。

イスラエルは、繁栄しています。

ところで言うておきますが、アメリカも繁栄していますよ。

アメリカが再び強くなり、イスラエルの味方に立ち、イスラエルがエルサレムを支配するのを許し、世界中でその地位を回復するためには、アメリカは繁栄していなければなりません。そして恐らく皆さんは、エゼキエル戦争の時、アメリカがイスラエルを助けられないとは、アメリカに何か起こるのだろうかと思っておられるなら、もちろん、これまでも何度かお話しましたが、携挙が起きて、アメリカの指導者たちがいなくなり、国が崩壊するか、もしくは、非常に大きな自然災害が起こって、そのためにアメリカが麻痺し、他の多くの問題に対処しなければならなくなるか、私たちには分かりません。ただ、一つ私たちに分かっているのは、この全てを通して、神が栄光をお受けになる、ということです。これから、この世を襲う戦争を通してでさえも、です。

ということで、非常に重要ないくつかをお伝え出来たと思います。

私たちは、覚えておかなければなりません。

ロシアとの戦争は、イスラエル国内でさえ、かなり現実味を帯びて来ました。

ただ、私たちが理解しておかなければならないのは、現在ロシアは、彼らの利益のために私たちの味方です。ロシアは、我々がシリアで活動するのを許しています。それは、シリア国内の略奪に関して、彼らがイランと競合になりたくないためです。

また、私たちが理解しているのは、ロシアも、イランも、トルコも経済的に苦しみ、血を流しているということです。これによって、今までになかったほどに、彼らは、中東で最も繁栄している国に攻め込む準備が出来ています。アメリカのような大国が背後にあって支持している、新興大国です。

物凄い事が、現在私たちの目の前で起こっていて、これは確かに、嵐の前の静けさです。

そして私たちは指導されています。

私たちは、他の人たちのように眠らないようにと、指導されています。

余りにも多くのクリスチャンたちが、神の道を歩いておらず、彼らは、健全な神の御言葉の教えに耳を貸しません。

第二テサロニケ2章にあるように、反キリストが登場する前に、背教が起こらなければなりません。現在、背教が起こっています。

サンフランシスコのグレース大聖堂のような教会が、週末の間中、ビヨンセの歌で“ビヨンセ礼拝”を行なった日には！彼らは、全く聖書にそぐわないものを讃えています。

このように、現在は教会が「イエス以外なら何でもアリ」の組織になっていて、これを見ているととても残念

に思います。

これまた残念なのは、あまりにも多くのクリスチャンたちが、未だに私たちの生きる時期と季節について、気づいていないことです。彼らは、点と点を繋げません。パウロがテサロニケの人たちに書いたように、彼らは理解していません。

我々は、夜の者ではなく、昼の者だ。我々は、目を覚ましていなければならない。確かに人は、「平和だ、安全だ」と言っています。

そして、最終的には、突如の滅びが彼らを襲います。

しかし今は、平和ですし、安全です。

そしてそのために、あまりにも多くのクリスチャンたちが眠っています。

しかし警告は、他の人たちのように、眠ってはいけない！

ですから、皆さん全員にお勧めします。

神の御言葉の近くに留まっていてください。

神の約束の近くに留まっていてください。

それを握りしめていてください。

私の大好きな聖句の一つは、ヘブル人への手紙 10 章 23 節で、聖書はこう告げています。

23 約束された方は真実な方ですから、私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白しようではありませんか。

24 また、互いに勧め合って、愛と善行を促すように注意し合おうではありませんか。

25 ある人々のように、いっしょに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか。

(ヘブル 10:23~25)

このように、ヘブル人への手紙の著者は、私たちにこう告げているのです。

今は、これまでになかったほどに、——ところで皆さん、見ての通り、かの日が近づいているのを見ている世代は、唯一、私たちだけですよ？きっと、パウロも、ペテロも、テモテも、彼らの全員が、今、私たちが見ているものを見たいと願ったはずですよ。

いろいろな人から、「過ぎ去らない世代」とは何だ？と聞かれますが、我々がその世代です。聖書は、世代は 60 年とか 70 年とか、80 年だとか、そういうことは告げていません。ここでは、それは問題ではありませんから。

ここでの問題は、全ての出来事を目撃する世代がある、ということです。

イスラエルの誕生だけでなく、エルサレムがイスラエルの手中に戻り、中東で、エゼキエル戦争に向けて同盟国が形成され、そこら中で背教が起こる。

その全てを、私たちは生きて見ている世代です。

だから、もちろん携挙は差し迫っていますが、私は、これまでになく差し迫っていると信じているのです。

そして、罪の人、反キリストが正体を現すには、——ところで、よく聞かれますが、——私は、彼は生きていますと思っています。彼は、ヨーロッパのどこかにいると、私は信じています。彼は今、息をしている、と私は信じています。しかし彼は、正体を現すことは出来ません。今は、彼は世界の舞台に踏み出して、好き放題す

ることは出来ません。

我々引き止める者、聖霊が内に宿っている者たちが、まず取り去られなければなりません。

ですから、皆さん全員にお伝えします。目を覚ましていてください。

そして、神の武具を身に着け、しっかりと希望を告白しようではありませんか。

希望です。

もうすぐ、イエスに会うのだという希望。

彼が間もなく来て、私たちを連れて行ってくださる。

これが私たちの希望です。私たちの希望は、この世ではありません。

私たちの希望は、主が来られて、私たちを連れて行ってくださることです。

彼が約束してくださったのです。

3 わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。

(ヨハネ 14:3)

今は、私たちにとっては備える時です。

だから神は、私たちに穏やかな時間を与えてくださったのです。

これは永遠ではありません。

長くは続かないでしょう。

今、私たちは、他の人たちのように眠るのではなく、用意をする時です。

ある人に聞かれたのですが、

「アミールさん、救いの達成に努めるとは、どういう意味ですか？」(ピリピ 2:12)

私が思うに、私たちはノアの日を生きています。

人は、めとったり嫁いだりしています。

人は、どんちゃん騒ぎをしています。

人は、まるで明日などないかのように生きています。

私は、今がノアの日々だと思っています。

私は、洪水がもうすぐやって来るとしています。

私たち神の民は、今、箱舟を建てるのに勤しんでいるべきだと、私は思っています。

箱舟を覆っている木のやには、ヘブル語で「כַּפָּר Kaphar」贖いです。そして、イエスの血が、我々の贖いだと、私は信じています。私が思うに、私たちの救いの達成に努めるとは、世で宴会騒ぎをする代わりに、世が与える事の出来る“良い人生”を生きる代わりに、私たちは聖い生き方をして、私たちの箱舟を建てなければなりません。私たちには、その日その時は分かりません。しかし、その時が来れば、全てを押し流してしまいます。そして、私たちは連れ去られます。私たちは、神の御怒りから救われます。

だから私が思うに、今は眠る代わりに、私たちは御父の仕事に非常に忙しく勤しんでいなければなりません。

一つ、私が何よりも凄く気になるのは、——私たちがしがみつ়べきなのは、メッセージを発信する人ではなく、メッセージである、ということを理解しなければなりません。大事なものは、発信する個人ではありません。私ではありません。

他の牧師でもなく、他の伝道師でもなく、大事なのはメッセージです。

そして皆さん、しっかりとした“ベレヤの人”にならなければなりません。

今の時代、あまりにも多くの偽預言者がいて、聖書が、私たちの内側から出て来る、と告げている、“反キリストたち”があまりにも多く出ています。物凄くたくさんいて、インフレ状態です。特にソーシャルメディアの時代は、皆さんがしっかりとしたベレヤ人となって、見極めなければなりません。毎日御言葉を調べて、人が教えていることが、本当に聖書的であるかどうか、自分で確かめなければなりません。

私が少し恥ずかしく思うことの一つは、物凄く正直に言えば、これは最近の事で、私は慣れていなくて、人が私を見かけると、写真を撮りたがったり、私のサインを求めたりするのです。これが私は、物凄く恥ずかしく思うことです。大事なのは、私ではなく、メッセージですから。私は、知らず知らずのうちにこれが偶像礼拝になることを物凄く恐れます。主ご自身や、主の御言葉、主のメッセージではなく、人間を賞賛してしまう。ですから、どうか話をする者に熱狂するのではなく、メッセージに熱狂してください。

そしてメッセージは常に、聖書が告げている事であるべきで、また、私たちが周辺で目にしていることを見て、それと聖書が重なる、これが大事なことです。

大事なのは、人ではなく、教義です。

今は、教義が攻撃されていて、激しい襲撃に晒されています。

そして、私が心底思うのは、見た目には嵐の前の静けさや、見事な繁栄、平和を見ていますが、霊的には、第二テサロニケの2章です。私たちは、そこら中で背教を目にしています。霊的には、私たちは崩壊しています。霊的には、教会は恐らく最悪の状態でしょう。

聖書を読まなかった中世の時代の人々と違って、私たちにはもはや言い訳は出来ません。

私たちは、聖書を持っていますが、それを読みません。

私たちは、聖書を持っていますが、間違っ引用します。

私たちは、聖書を持っていますが、他のことに頼る方を選びます。

そして人は、神の御言葉と聖霊との極めて重要なバランスを忘れています。

神の御言葉を放り出して、聖霊に集中するか、もしくは聖霊を放り出して、教義に集中してしまうかのどちらかで、私たちは、両方ともが同じくらい重要であることを忘れてはならないのです。

神の御言葉を理解するためには、聖霊が必要で、

聖霊を理解するためには、明らかに神の御言葉が必要です。

これらは共に働くのです。

皆さん、どうか理解しててください。

今、私たちは、今までになかったほどに、強くいなければなりません。

そして私たちは、全き信仰を持たなければなりません。

約束された方は、確かに真実ですから。

では、アロンの祝福で締めくくりましょう。

どうか皆さん、このメッセージをフェイスブックでシェアしてください。

数時間後に、ユーチューブに投稿されます。今はイスラエルは安息日で、真夜中ですから、イスラエルにいるスタッフは作業できませんが、後ほどユーチューブに投稿されます。

どうぞ、フェイスブックとユーチューブで、私たちをフォローしてください。

ところで、ユーチューブは、恐らく明日には登録者が10万人を超えるでしょう。私たちがフォローしていただき、ありがとうございます。インスタグラムは「beholdisrael」です。毎週メールで届く、ニュースレターを登録してください。ウェブサイトよりご登録いただけます。beholdisrael.orgです。では、祈りましょう。

	ヴェイシエメレハー		アドナーイ		イエヴァーレフハー	
	וְיִשְׁמְרֶךָ		יְהוָה		יְבָרְכֶךָ	
	..(主が)あなたを守られますように		主が		あなたを祝福し	
ヴェーフネッカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	ヤーエール		
וַיַּחֲנֶךָ	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יָאֵר		
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし		
シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	イッサー
שְׁלוֹם	לְךָ	וַיִּשֶׂם	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

あらゆる理解を超えた平安、唯一、平和の君から与えられる平安、平和の主が、今も、どこにいても、いつでも与えられますように。

このお祈りを、主の御名によってお捧げします。

アーメン。

アーメン！シャバット・シャローム！

テネシー州の Leiper's Fork より、I love you ! God bless you !

来週、イスラエルでお会いしましょう。シャローム！God bless you !

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

カルバリーチャペル・シンシナティーでの講演 : Behold Israel Bible & News Weekly Round up: May 24, 2018

“Was blessed to share Sunday at Calvary Chapel Cincinnati, OH.”

Gala ディナーで演説するトランプ大統領 : Behold Israel Bible & News Weekly Round up: May 24, 2018

“Thankful to watch him live and meet him in person”

「March for Life」で演説するトランプ大統領 : You Tube “President Trump addresses 2018 March for Life”

ハサン・ナスルッラーフ : Wikipedia 「ハサン・ナスルッラーフ」

ハッキングされた、マシュハド国際空港のモニター : Security Affairs “On Tuesday 24th May, hackers defaced the screens at the Mashhad airport in Iran to protest uthe Government and the military’ s activities in the Middle East.” 28th May, 2018

インタビューに答えるネタニヤフ首相 : You Tube “Netanyahu on Israel’ s relationship with the Arab world” Fox News 2018/5/19

アブディスの位置 : Yahoo 画像「アブディス」

アバ・エバン : Wikipedia「アバ・エバン」

Hashmat Alavi のツイート : ツイッターより「Jザリーフが、笑顔のイラン“改革派”か“穏健派”と
思っている人たちへ、ここに彼の映像“アメリカに死を、イギリスに死を”と唱えている。そして…」

マイクロチップの移植 : INDEPENDENT “Swedish workers implanted with microchips to
replace cash cards and ID passes” 2017/4/6

ヘブル語の表記 : Blue Letter Bible